

# 勇気と潔さと熱い時間を持つて!



皆様の声に応えて、  
‘The Last Samurai’ 島津光二 第2弾

日産鮎川義塾主催

## 2014年度 第2回『ビジネス交流会』

《日時》 2014年6月20日(金) 19:00~20:30

《場所》 idea salon 東京都中央区日本橋茅場町 2-11-8 茅場町駅前ビル 3F  
東京メトロ日比谷線・東西線茅場町駅 1番出口徒歩1分

《会費》 5,000円(学生2,000円)

お振込先: 日産グローバル株式会社 三井住友銀行 白山支店 普通口座 6827592

《お申込方法》 ◇お名前 ◇ふりがな ◇メールアドレス ◇会社名 ◇役職  
を明記の上、ayukawa\_gijuku@nissan-global.co.jp にご連絡願います。

※定員が30名と限りがございますのでお早めにお申込ください。

日産鮎川義塾事務局 03-3669-3671

「敗戦の責任は日本の男にすべてある。  
潔く切腹すべきだ」

1945年8月15日、世界を震撼させた第二次世界大戦が日本の無条件降伏にて終結した時、その15歳の少年は言った。そして、昭和天皇が「国民が全力を挙げ、日本復興に力を尽くすように。」と言うならば

それに応えようと、自国を叩き潰した相手国・アメリカへ行って、学べるものはすべて学び、一緒に働き、鍛えあい

「日本人の自分がどれだけ勝負できるか試したい!」と決意する。

21歳の春、未だ占領下にあった日本のマッカーサー総司令本部にて語学試験、身体検査等々を経て、“issued in occupied JAPAN”と明示されたビザを獲得し、渡米した。



渡航に使われた氷川丸

- ◇ もっとやりたいことを突き詰めて挑戦すべきだと思った。迷っていたことが決まってきました。
- ◇ 島津さんの人間性や社会経験、人に内面から影響を与える力など、あらゆる面で衝撃を受けました。考え方が変わり、また生きていく勇気をもらいました。
- ◇ 物の捉え方が少し違うだけでエネルギーの溢れ方、幸せの感じ方が全く違うことが分かり、とっても元気になりました。私にもできます。
- ◇ 渴いた心に届く、大変優しいお話だと思いました。真のリーダーの言葉は、いつも分かりやすいものだと感じました。 -第1回の感想から

《ゲストプロフィール》 島津光二

薩摩藩の末裔として1930年に生まれる。ロックフェラー財団やフォード財団等から奨学金を得て学び、花形であった米国国務省広報局にて翻訳編集やVIP通訳担当に携わる。当時、米最大の銀行バンクオブアメリカの幹部候補生として入行。行内の全米スピーチコンテストでは、ハーバード大卒、イェール大卒の多くの頭取候補生を抑え、日本人初となる、優勝を飾る。28歳、最年少・日本人初の極東幹部に就任。数兆円という金額をアメリカから日本へ融資をし、数々の大企業をサポートし続けた。現在日産グローバル株式会社社長。

新たな出会いで人生を変えよう!  
夢と希望を胸にいつまでも若く生きよう!  
美しい地球に平和で心豊かな社会を築こう!